

「組合」はあなたの心強いパートナー

◆ 法人に移行して2年目を迎えて、法人制度の歪みを正し、

大学・高等教育の充実と教職員の待遇改善をめざします。

大学・高専で働く人びとの安心を獲得するために、 草の根運動から地道に対話を重ねる努力が大切。

起りうる不安を取り除くことが
労働条件や環境の改善につながります。

全国大学高専教職組合 中央執行委員長 関本 英太郎

多くの教職員が大学・高専の将来に非常な不安を抱いているのではないか。法人組織となって、もうすぐ一年が経過します。その弊害や矛盾は誰の目にも明らかです。研究予算が削られる。非常勤講師の数が減らされる。運営費交付金も毎年確実に減っていく。収入の道は外部資金に頼るしかない。事務職員のサービス残業も相変わらず横行しています。

今こそ、労使交渉の意義を最大限に利用しようではありませんか。組合としてその力量を最大限に發揮し、労働条件・環境を改善しようではありませんか。

全大教の今春闘期のスローガンは、「草の根運動」です。国民、政党、議員、マスコミ、産業界、関係諸団体などどこまめに対話を重ね、彼らに大学・高専の



応援団になってもらおうという試みです。

内に外に、組合が取り組むべき課題は多い。それを解決するには、大学・高専で働く皆の力が不可欠です。ぜひひと組合に入り、一人ひとりの力を遺憾なく発揮してほしいと思います。

全国大学高専教職員組合

Faculty and Staff Union of
Japanese Universities (FUJ)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-14 朝日神保町プラザ201

TEL (03) 3262-1671 FAX (03) 3262-1638

<http://www.zendaikyo.or.jp> [mail] somu@zendaikyo.or.jp

全大教に加盟している教職員組合 (2005年3月現在)

●国立大学・共同利用研究機関の組合

北海道大学教職員組合
北海道大学水産学部教職員組合
北海道教育大学旭川校教職員組合
北海道教育大学札幌校教職員組合
北海道教育大学函館校教職員組合
北海道教育大学釧路校教職員組合
北海道教育大学岩見沢校教職員組合
小樽商科大学教職員組合
帯広畜産大学教職員組合
室蘭工業大学教職員組合
北見工業大学教職員組合
弘前大学教職員組合
岩手大学教職員組合
山形大学教職員組合
秋田大学教職員組合
東北大学教職員組合
宮城教育大学教職員組合
福島大学教職員組合
宇都宮大学教職員組合
茨城大学教職員組合
高エネルギー加速器研究機構教職員組合
群馬大学教職員組合
山梨大学教職員組合
信州大学教職員組合連合会
埼玉大学教職員組合
新潟大学教職員組合
東京大学教職員組合

宇宙科学研究所教職員組合

国立天文台教職員組合
筑波大学教職員組合
東京芸術大学教職員組合
東京農工大学教職員組合
電気通信大学教職員組合
一橋大学教職員組合
東京医科歯科大学教職員組合
東京学芸大学教職員組合
東京海洋大学教職員組合
富山大学教職員組合
金沢大学教職員組合
福井大学教職員組合
静岡大学教職員組合
名古屋大学教職員組合
名古屋工業大学教職員組合
愛知教育大学教職員組合
岐阜大学教職員組合
三重大学教職員組合連合会
滋賀大学大津地区教職員組合
京都大学教職員組合
京都教育大学教職員組合
京都工芸繊維大学教職員組合
和歌山大学教職員組合
奈良県国立大学付属学校園教職員組合
奈良女子大学教職員組合
大阪大学教職員組合
大阪外国语大学教職員組合

●公立大学の組合

岩手県立大学盛岡短期大学教職員組合
東京都立大学・短期大学教職員組合
横浜市立大学教職員組合
岡山大学教職員組合
山口大学教職員組合
香川大学教育学部教職員組合
徳島大学教職員組合
愛媛大学教職員組合
高知大学教職員組合
九州大学教職員組合
福岡教育大学教職員組合
九州工業大学教職員組合
佐賀大学教職員組合
大分大学教職員組合
宮崎大学教職員組合
熊本大学教職員組合
鹿児島大学教職員組合
福井工業高等専門学校教職員組合
富山商船高等専門学校教職員組合
豊田工業高等専門学校教職員組合

●国立高等専門学校の組合

旭川工業高等専門学校教職員組合
苫小牧工業高等専門学校教職員組合
小山工業高等専門学校教職員組合
水更津工業高等専門学校教職員組合
福井工業高等専門学校教職員組合
富山商船高等専門学校教職員組合
富山工業高等専門学校教職員組合

●準加盟組合

滋賀県職員労働組合富山県立大学分会
滋賀県職員組合県立大学教職員協議会

お問い合わせは

2005.03

全国大学高専教職員組合(全大教)

ホットするわ。

あなたも組合で
ホットしませんか?

大学と対等に
交渉できるのは
組合だけです。

組合は、あなたを
サポートし、
明るい職場を
つくります。

教職員の過半数の方が加入する組合が全国で続々と誕生しています。
組合はこれから国立大学法人、大学共同利用機関法人、高専にはなくてはならない存在です。

教職員組合は、あなたの
身近なパートナーです。

「仕事関係以外の人との出会いが大きく自分を成長させた いまでは、私の大きな財産です。」

事務職員ですが、情報環境部という部局の中、全学の業務システムの維持管理を司る部署に勤務しています。最近では、マイクロソフトのACCESSを利用した旅費計算業務システムを作成しました。教員や技術職員の方ほど、コンピュータについて造詣

すぐることが果たして本当に幸せなことなのか、判断に困る場合もありますが、私自身からすれば何か問題が起こったときにはこの人に聞け、といった機会を未組合員の方より多く持つことができました。これは私の財産です。自分さえよければ、自分が評価されれば、といった狭量に陥ることのないよう今後も謙虚に働いていきたいと思っています。

京都大学（事務職員）辻 英祐

が深いわけでもないので、恥をかく事數知れず、勤続10年の中堅職員のはずですが、未だ毎日が勉強、勉強です。

組合に加入してよかったこと

仕事上のつながりだけでなく、仕事以外のつながり、ネットワークを持てることはとても有意義です。多くの情報を知り



「何よりも組合は同世代の人と出会えること。 専門分野の意見交換も意識を高めるチャンスです。」

機械工場に所属し、天文学関係のプロジェクトから日々依頼を受けて加工するのが仕事です。私が組合に加入したのは5年ほど前になります。様々な情報や学習の機会など、加入して得たものはいろいろありましたが、何よりも価値があったことは、「人と出会えたこと」です。

日常、自分の仕事に関わる方とのみお話しすることがほとんどで、天文台内だけでも、観測、解析、開発、事務、広報、図書など、様々な

仕事をする方がおられます、意識しない限り直接お目にかかる機会はほとんどありません。まして、他機関の方とお話しすることなど滅多にありませんでした。最も有難かったのは、同世代の、同じ機械加工を職とする方々に出会えたことです。自分の職場の中だけでも勿論勉強になることは多いですが、他の機関の同世代の方とお話しすることで、組合も本業についても、自分の未熟な点が見えたり、頑張らないといけないという意識がより強くなりました。

自分の時間を割かれる、余計な仕事が増えるという面もある組合活動ですが、反面、糧として得られる物もあると実感しています。これからも組合を通して出会う人々を大切にしていきたい。



国立天文台（技術職）金子慶子

「いろんな人が加入している全大教で『ネットワーク』を駆使して 仕事がはかどると、みんなの顔がつながってすごく元気がです。」

名古屋大学図書系職員の浜島泰子です。工学部図書室で相互利用、閲覧・参考業務、和図書の受け入れ業務一部を担当しています。ひとことでいえば、利用者が探している資料を探しあてて、結びつける役目です。文献探しはお任せください。（えへん。）

本学は総合大学で、附属図書館と部局図書室が分散しているため横のつながりがあまりないため、図書職員部会を立ち上げました。1998年のことです。キーワードは「仲良し」「ネットワーク」です。私たちは大学の図書館員として、より高度な研究支援サービスの提供を目指しています。

図書が関わった組合の実績って？現在全学的に行われているVDT検診は、図書館に初めて電算システムが導入された1980年代、図書館の組合員がVDT作業の健康への影響について問題提起したことがきっかけで、全学的な検診の実施となつたそうです。

組合の役割は保険のようなもので、何かあって初めてそのありがたさがわかるという、空気のようですが必要不可欠で、

困ったときに駆け込める非常にありがたい存在でもあります。今まで本当にいろいろお世話になっています（ぺこぺこ）。例えば税金の医療費控除申告書の書き方から、子供の保育所とかの身近な相談ごとまで解決していただきました。

その中でわかつたのは、ここまで組合を築いてこれらた諸先輩方のご苦労があつてこそ、私たちは安心して仕事ができる、ということと、組合で言いたいことも言い合い、みんなの顔を見て元気が出るわけだというこ



名古屋大学（図書館職員）浜島泰子

ち着いて書く時間もなく働いています。こうした状況で、いつ医療事故が起きてもおかしくないと皆が思いながら働いている現状です。

今ただ業務に追われて仕事をしている環境を改善するために、また、そういった厳しい状況の中で働いていると感じながらもその気持ちを押し殺して働いている現状を少しでも改善するために、一人一人の組合員と力を合わせながら取り組んでいきたいと思っています。



秋田大学（看護師）
神原篤司

農学部で、基礎的な化学の講義や実験の担当をしている教員です。

法人に移行してこの1年、鹿児島大学は混迷の度を深めています。研究室への配分予算の大幅な減額、急速な任期制導入の動き、学長裁量定員による学部教員定員の減少など枚挙に暇がありません。しかしこれらの現象の根本には、学長・理事らの大学執行部の独断的な大学運営があると思います。

「法人に移行して1年、まだまだやることはたくさんあるけど、理不尽なことに対して、声を上げ続けていくしかないのです。」

公式な審議機関である教育研究評議会も、十分な機能を果たせていません。教職員組合も1度学長を含む執行部と交渉を行いましたが、非常に不十分なものでした。しかし理不尽なことに対しては、声をあげ続けていくしかないのです。組合がその核となっていかなければならぬと思います。

私は消化器内科・神経内科の病棟で働いています。内科は慢性疾患が多く、また末期の患者が多い病棟で、神経内科はALS等の疾患で、ADL全介助を要する患者が多い病棟です。

高齢者の患者が多いため検査などへの移送も介助を要する場合がほとんどで、その中で点滴を作ったり清潔の援助をしたりと、業務が煩雑な中で職場の人は働き、看護記録を落

「忙しい職場で事故が起きないかという不安をかかえる悪循環より、ゆとりの気持ちをもって事故のない職場への取り組みが大切です。」



鹿児島大学（教員）
桝木直也